



 仙北市

# 議会だより

No. 14  
平成21年5月号



今年12月完成をめざす神代小

# 「平成21年度予算決まる！ 一般会計は182億4,500万円」

## 「人件費40億、物件費は25億。 借金返済(公債費)は33億円に」

最悪といわれる世界経済同時不況の下、仙北市内の大半の企業は、受注減による生産調整や仙北市からの撤退などかつてなかった厳しい対応に迫られている。

働く人達は解雇や自宅待機、時間短縮等による収入減はもとより、生活苦に陥っている。

そんな厳しい経済情勢、雇用情勢の中、仙北市の平成21年度の当初予算など、61件の議案を審議する定例議会が行われた。市当局と議会でのような議論が交わされたのか。その内容について報告する。

### 市税は大幅な減少 市債23億を超える！

21年度歳入は、地域経済の減速により市税の落ち込みと滞納増が心配される。たばこ税は禁煙により、また入湯税も観光客の落ち込みで減収と見込んでいる。市税収入は26億6千万円、前年比5

パーセント減と見込んでいる。

地方交付税は前年比3・6パーセント増の81億円を見込んだが、これは雇用対策推進の施策費がプラス要因である。

21年度の市債の発行額は23億6千万円で、総務債、衛生債、民生債のほか、教育債が5億9500万円、過疎対策債が4億6800万円、臨時財政対策債(赤字対策債)は7億5千万円である。

財政需要に見合う財源確保が困難な状況で、厳しい財政運営が求められている。歳出の徹底的な見直しはもちろんだが、歳入の確保に英知を結集する必要がある。

### 普通建設事業費は 27億4400万円

歳出を性質別にみるとトップは人件費で唯一20パーセントを越える構成比率で、40億円近い額である。二番目は借金返済の公債費33億472万円で、18・1パーセントを占める。三番目が普通建設事業費の27億4489万円。前年比2・8パーセント、7850万円ダウンである。物件費25億1415万円、補助費等が18億33万円、繰出金16億9208万円、扶助費15億4435万円と続いている。

全体的に維持補修費、貸付金、補助費が前年比で増となっている。目的別に予算をみると少子高齢化に伴う社会保障費用の増が著しい。老人福祉、児童福祉の費用増や生活保護費等扶助費が増加している。また借金返済の公債費がピーク時のため財政構造は危機的状況にある。しかしかけるべきところに、お金はかけなければならないが、そのポイントについての議論が不足している。

### 下水道特別会計に 4億7千万円

一般会計予算から事業特別会計へ繰出されている予算で額の多いのは、下水道事業が4億7230万円。集落排水事業が2億9500万円。国保事業2億300万円。後期高齢者医療が9300万円、簡易水道事業は9650万円。その他に介護保険特別会計、浄化槽事業特別会計、老人保健医療特別会計など事業特別会計等繰出金総額は、16億9208万円になる。

### 特別職の給与暫定措置期間さらに延長

■市長、副市長、教育長



運転業務を委託した汚泥再生処理センター

の給料月額をそれぞれ85,000円、51,000円、35,000円を当該給料月額から減じた額とする条例改正。

■基金条例の一部改正は肉用牛特別導入基金で、基金の額を「1,919万円」を「1,852万円」に改める。

■職員定数条例の改正は、市長部局職員「495人」を「465人」に、監査事務局職員「2人」を「3人」に、合計「945人」を「916人」に改める。

■仙北市廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正は、「し尿処理場」を「汚泥再生処理センター」に改める。

- 仙北市都市公園条例の一部改正は、「角館駅東公園」を追加する改正。
- 仙北市「在宅介護支援センター」の条例を廃止。
- 平成21年度特別会計予算は次の通り。
- 「集中管理」47億5800万円
- 「下水道」12億6600万円
- 「集落排水」5億2060万円
- 「浄化槽」9550万円
- 「国民健康保険」36億8760万円
- 「老人保健医療」532万円
- 「後期高齢者医療」2億9090万円
- 「介護保険」7億800万円
- 「生保内財産区」9070万円
- 「田沢財産区」4100万円
- 「簡易水道」2億1900万円
- 「病院事業」田沢湖病院11億2549万円。角館病院43億610万円。
- 「温泉事業」3641万円
- 「水道事業」3億135



緊急雇用対策の募集を担うハローワーク

万6000円  
 ■平成20年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ3億7695万3千円を減額し、181億3048万8千円とする。  
 ■過疎地域自立促進計画の変更  
 クリオンとにしき園、西明寺診療所のボイラーと給排水設備を木質バイオマス設備導入により改修。  
 ■市有財産の減額貸付  
 水沢ロマンスリフト、水沢ナイター設備一式を田沢湖高原リフト株式会社

に「通常貸付216万1820円」を「減額貸付56万472円」で2年間貸し付ける。  
**市営住宅家賃徴収に誤り!**  
 平成18年度から20年度にかけ、菅沢住宅、さくらぎの里、岩瀬住宅、ニュータウン塚野腰の各住宅家賃、合計65万5380円を誤って徴収したことが報告された。件数にして42件である。原因は平成17年11月の家賃設

**緊急雇用の人件費分5935万円、従事労働者は79人!**

■仙北市の経済不況対策は他市町村に遅れをとったが、議会最終日に追加提案され、全会一致で可決された。  
 対策事業は平成21年度に繰越しとなったが、内容は次の通り。  
 歳入は地方交付税が5180万円で、大半は国库補助金の9億5797万4千円である。  
 歳出で大きい予算は、定額給付金4億9122万円で、対象者には4月中に支給された。事務費用は1036万円かかっ



家賃徴収に誤りがあった市営住宅

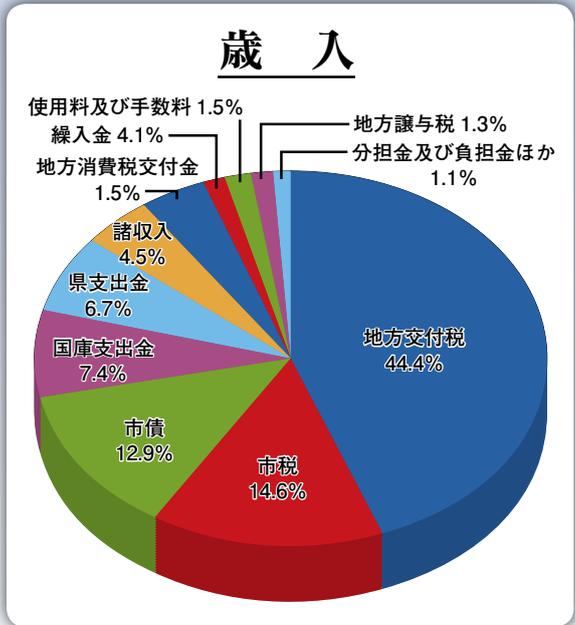
定時に、損害保険改定率に誤りがあったことが説明され、関係者にお詫びし理解を求めた。

た。  
 介護保険特別会計繰出金1億694万円は、桜苑、にしき園のスプリンクラーの工事請負費1億178万円が主である。児童福祉費では子育て応援特別手当1260万円。  
 農業費は花葉館の冷温水発生機更新費用で、工事請負費3079万円。土木費は道路整備事業に1億3000万円で工事請負費が1億2200万円。河川費は生保内川癒し溪流づくり事業の工事

汚泥センター、ごみ処理施設に応募者殺到!  
 仙北市が直営で業務を運営してきたごみ処理施設と汚泥再生処理センターの運転業務を21年度から委託化した。  
 現地法人会社を設立し、社員20人強を地元採用し営業を行なっているが、失業が増えている中、汚泥センターとごみ処理の受託会社の募集には170人近い応募者が殺到した。

請負費が1440万円。消防費は施設整備事業1567万円で、備品購入費等である。  
 教育費は学校施設関係費用1億3221万円。社会教育費491万円。うち工事請負費は1億2779万円である。  
 ■平成21年度補正予算に、緊急雇用対策費として、6137万9千円が補正予算で措置された。事業の内容は「」の通りである。  
 「税務事務補助員確保」、「地番現況図修正作業業務委託」、「観光資源整備事業」、「台帳整備関

# 万円 館小の 算に突出!!



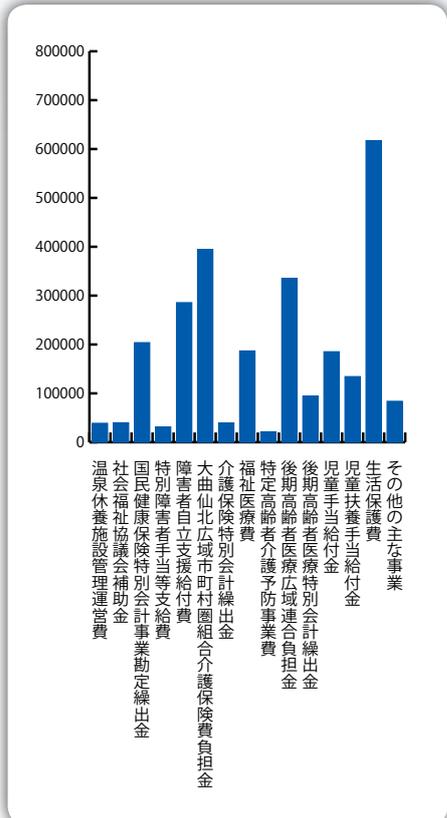
21年度の当初予算は、182億4500万円と決まった。その予算内訳をみると、最も生活に直結する「民生費」は総予算の22・9パーセント。病院やごみ処理などに繰

出される「衛生費」は、10パーセント。学校施設整備事業の多い「教育費」は12・5パーセントであるが、最も市民所得に関する農林水産業費は8・1パーセント。商工費はわずかに3・7パーセント。土木費は8・0パーセントで低い構成比率である。

## 民生費

■本年度民生費の総額は、41億7943万円である。民生費には国が負担するお金や事業補助金が多い。また県の負担金も3億1千万円。県の補助金が1億9千万円入っ

ている。支出されるお金については、職員給与費や障害者福祉費、老人福祉、高齢者医療費など社会福祉費に23億9300万円。



認可保育園の職員給与費3億8700万円や保育園の管理運営費等児童福祉費が11億4600万円。生活保護費関係に6億2千万円が措置された。

## 衛生費

■衛生費には保健衛生費と水道費、病院費や清掃費等が措置されている。保健衛生費は職員給与などの総務費が1億8700万円。母子保健対策費として妊婦検診費等が1996万円。

障害者自立支援給付費に2億8550万円。広域市町村圏組合の介護保険費負担金に3億9400万円。福祉医療費が1億8600万円。後期高齢者医療の広域連合負担金が3億3500万円。児童手当給付費は1億8500万円、児童扶養手当給付費が1億3400万円。保育園の給食委託費6023万円。保育園管理運営業務委託費は3670万円などが措置された。

予防費の6420万円には、予防事業費2412万円と健康増進事業費3670万円などが措置された。

会福祉協議会に業務委託している保育園業務費で1億2500万円である。

診療所費は1億4200万円、歯科診療所、西明寺診療所の管理運営費と田沢診療所、神代診療所への繰入金である。

水道費は簡易水道事業会計補助金と特別会計への繰入金など1億1642万円。病院費も4億5000万円の補助金である。大腸がん予防事業に1590万円が措置された。清掃費の予算は、塵芥処理費、し尿処理場管理運営費で7億8780万円。

■教育費の総額は22億7593万円、構成比率は民生費、公債費に次いで3番目である。継続事業となる神代小学

校建設と角館小学校のグランド整備事業の工事請負費が8億6100万円と今年度も多額である。教育総務費事務局費に2億1830万円措置されたが、職員給与費が2億495万円と予算の大半を占めている。

小学校費の総額は10億4394万円、管理費は1億2454万円。教育振興費が3979万円。学校建設費は8億7960万円、教育費の38パーセントを占めている。

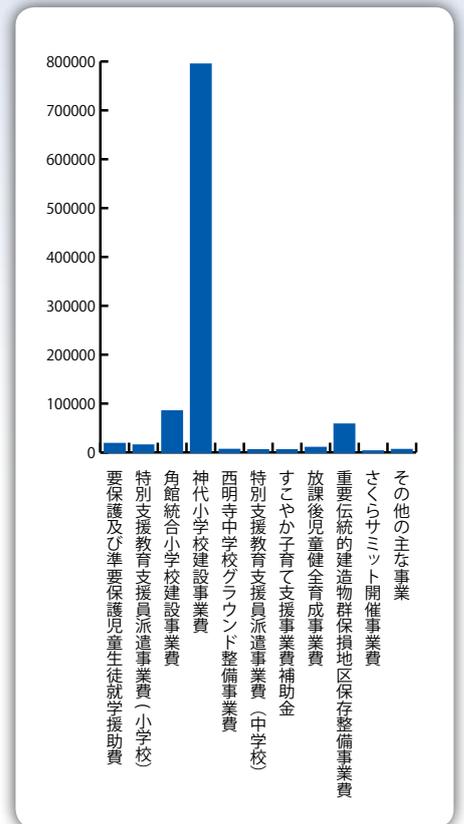
■教育費の総額は22億7593万円、構成比率は民生費、公債費に次いで3番目である。継続事業となる神代小学

# 教育費22億7千500 神代小・角 学校建設予

費132  
1万円が  
措置され  
た。

業水農  
費業産林

の総額は  
7億20  
13万

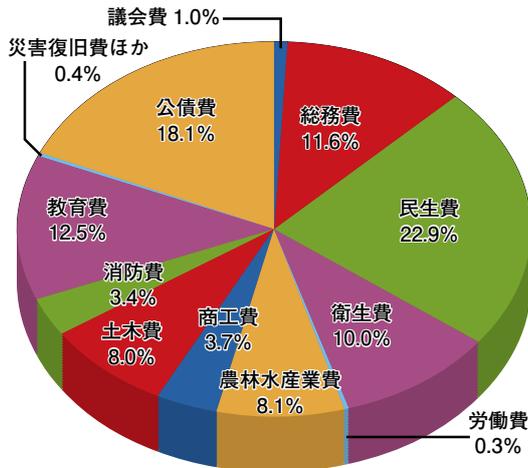


円。林業費は7億585  
6万円である。

円、文化財保護費792  
7万円、学習資料館・イ  
ベント交流館費が475  
3万円、美術館費365  
2万円、市民会館費43  
23万円、交流センター

進対策費は121万円の

## 歳出



予算である。振興費とい  
えるような予算ではな  
い。畜産振興費も1702  
万円、796万円の牧  
場管理運営費と家畜導入  
事業費補助金362万円  
が主な費用である。

## 商工費

農地費予算が4億34  
49万円と農業費総額の  
60パーセントを占める  
が、約3億円は集落排水  
事業特別会計繰出金の予  
算である。

商工観光に係る予算総  
額は、6億7700万円。

商工総務費1億2389  
万円は職員給与費。

商業振興費は3億54  
85万円、企業振興対  
策53万円、商工業振興

対策70万円、特産物販  
売促進対策に48万円と少  
額である。企業誘致につ  
いては秋田県の推進協議

会負担金30万円だけであ  
る。仙北市商工会補助金  
も1190万円である。

大きい予算は貸付金の  
3億1千万円で、中小企

業振興資金預託金と商工  
中金財政資金預託金であ  
る。

観光予算は1億315  
1万円。

観光協会補助金、田沢  
湖マラソン負担金、角館  
の桜まつり等各種事業の  
負担金補助及び交付金に  
6600万円。施設等の  
委託料が2500万円、  
使用料賃借料が1700  
万円の予算である。

観光宣伝の費用はわずか  
493万円の予算であ  
る。

樺細工に係る予算は4  
61万円の予算である。

この予算では伝統工芸品  
の振興を図ることは難し  
い。

伝承館費は4200万  
円の措置で、職員給与費  
が2384万円、管理運  
営費が1760万円であ  
る。

予算的にも樺細工の振  
興と伝承館運営のあり方  
を検討する必要がある。

住宅建設費9974万  
円の措置は、工事請負費  
9220万円で、田沢湖  
公園南団地市営住宅の外  
壁修理等の費用である。

道路新設改良費は4億  
7995万円で、工事請  
負費が1億7900万  
円、補償費等が1億73  
86万円である。工事箇  
所18件、補償10路線が予  
定されている。

公有財産購入費194  
4万円、委託料5990  
万円が措置されている。

河川改良費には玉川河  
川敷整備事業費400万  
円が措置されたが、国体  
馬術競技場跡地の多目的  
広場の実施設計委託料で  
ある。サッカー、グラン  
ドゴルフ場等が計画され  
る。

都市計画費の総額は5  
億3476万円だが、下  
水道事業特別会計繰出金  
が、4億7200万円が  
主である。都市計画街路  
横町線道路改良事業費は  
540万円の負担金が今  
年も措置されたが、完成  
の目処は立っていない。

住宅建設費9974万  
円の措置は、工事請負費  
9220万円で、田沢湖  
公園南団地市営住宅の外  
壁修理等の費用である。

## 土木費

道路橋りょう費が6億  
5148万円。そのうち、  
道路維持費が9642万  
円で、工事請負費は11

# 一般質問

今定例会の一般質問には澤田信男、門脇健郎、田口勝次、高久昭二、藤原万正、安藤武、小田嶋忠の七人が登壇した。

「算額の角館小学校への展示」「地域医療確保」「本庁舎建設の意見交換」「大曲養護学校の分校誘致」「定額給付金の実施内容」「学校給食施設整備」「福祉施設の民間委託」等について当局の考えを質した。

## 「算額」を角館小学校で展示できないか 揭示を検討したい



### 沢田信男

**質問** 旧西長野小学校額は、閉校と同時に所有する西長野熊堂神社にお返しされたが、この算額は、大変に貴重なもので、先人の勉強に対する強い思いや熱意を伝えるためには、角館小学校において引き続き展示すべきと考えられるがどうか。

算額の意義については十分理解しているのですが、今後地域並びに神社関係者の意見意向をお聞きして、角館小学校での揭示を検討したい。

**答弁** 旧西長野小学校において算額を揭示していたということは、地域の方々や子供達にとって意義のあったことと認識しているが、閉校時に取り扱いについて協議をしたところ、神社にお返しをすべきとの意見から現在は所有する西長野熊堂神社にお返しをしている。

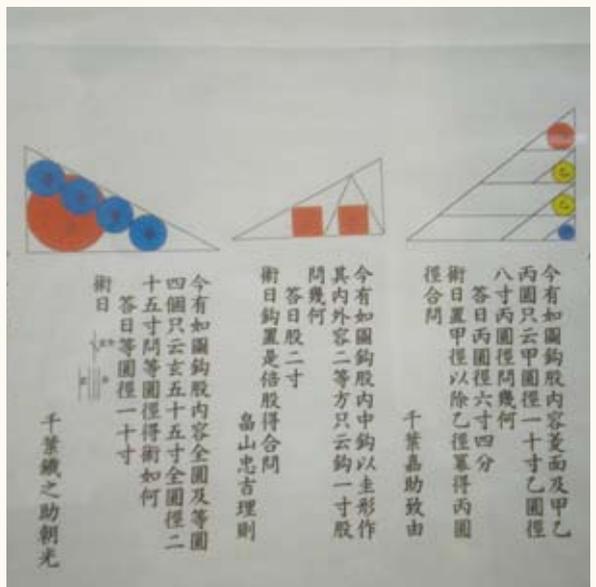
肺炎については、高齢者ほど死亡原因に占める割合の高い病気で、体の抵抗力が弱くなればかかりやすい病気と認識している。肺炎の予防接種についてその効果は有効であることも承知しているが、他の病気との兼ね合いなど

予防医療の観点から、現在死亡原因の第四位である肺炎について、高齢者への肺炎の予防接種は医療費の増加を防ぐ手立てとして有効なものと考えているが、予防ワクチンの接種費用の助成の考えはないのか。

**答弁** 肺炎については、高齢者ほど死亡原因に占める割合の高い病気で、体の抵抗力が弱くなればかかりやすい病気と認識している。

予防医療の観点から、現在死亡原因の第四位である肺炎について、高齢者への肺炎の予防接種は医療費の増加を防ぐ手立てとして有効なものと考えているが、予防ワクチンの接種費用の助成の考えはないのか。

**答弁** 肺炎については、高齢者ほど死亡原因に占める割合の高い病気で、体の抵抗力が弱くなればかかりやすい病気と認識している。



社に奉納されている「算額」のレプリカ

予防医療の観点から、現在死亡原因の第四位である肺炎について、高齢者への肺炎の予防接種は医療費の増加を防ぐ手立てとして有効なものと考えているが、予防ワクチンの接種費用の助成の考えはないのか。

**答弁** 肺炎については、高齢者ほど死亡原因に占める割合の高い病気で、体の抵抗力が弱くなればかかりやすい病気と認識している。

予防医療の観点から、現在死亡原因の第四位である肺炎について、高齢者への肺炎の予防接種は医療費の増加を防ぐ手立てとして有効なものと考えているが、予防ワクチンの接種費用の助成の考えはないのか。

**答弁** 肺炎については、高齢者ほど死亡原因に占める割合の高い病気で、体の抵抗力が弱くなればかかりやすい病気と認識している。

## 急がれる医師の確保 地域医療は命に関わる

要性などを判断する統一した管理部署が必要と考えている。  
維持管理について、営

繕計画などを立てて進めて一括管理をする管轄係の設置について前向きに検討して行く。



### 門脇健郎

**質問** 一日も早く医師の確保をして、田沢湖病院の救急業務を再開しなければならぬと思う。これは市民の命に関わる問題であり、観光客にとってもあるいはイベント、災害時の対応も考えると仙北市の大きな課題である。この問題について当局は、もっと危機感を持って取り組むべき問題と思う。

市立病院改革推進計画策定委員会の考えでなく、石黒市長自身の率直な考えを聞きたい。

地域医療の充実には命に関わる問題

一日も早く医師の確保をして、田沢湖病院の救急業務を再開しなければならぬと思う。これは市民の命に関わる問題であり、観光客にとってもあるいはイベント、災害時の対応も考えると仙北市の大きな課題である。この問題について当局は、もっと危機感を持って取り組むべき問題と思う。

市立病院改革推進計画策定委員会の考えでなく、石黒市長自身の率直な考えを聞きたい。

地域医療の充実には命に関わる問題

る。今後の具体的な方針について伺いたい。

**答弁** 再生計画について5年間継続することを県、北秋田市とともに合意した。存続が決まったということではなく、再生計画を継続することで、残れるかどうかはこれから問題と捉えていく。



乗車運動のすすめ方が課題となる内陸線

。今後は地域の皆さんに

乗車していただくことが一つ、さらに外部の乗車数を増やすことの二本立てで取組む。仙北市、北秋田市の住民アンケートで乗車するに何が必要かを調査し、新たな対応を検討する。

だ。問題は農林業で22番目である。農林業を再興することが必要だ。

**質問** 市長が今任期中に克服すべき課題は何か。議会特別委員会への出席が少ない理由は。

**答弁** 「緩和と均衡ある発展」を最重要課題としている。特別委員会の情報提供は職員に出来るかと判断し、要請がない場合は出席しなかった。

**質問** 本庁舎建設については、市長の考えはまだ示されていない。議事全体の協議も一度もないがどう考える。

**答弁** 今年度末まで方向性は示す。市民の考えを聞き、その後議会の議論をお願いする。ワーキンググループ提案以外の可能性のある位置についても議論したい。

**質問** 仙北市の財政健全化は更に厳しさを増している。財政危機を切り抜ける政策は何か。

**答弁** 財政の健全化には自主財源を確保することが必要だ。市民

の所得向上が課題であり、雇用の場や産業振興を考えた政策に取り組む。

**質問** 若い人達が働くには、「未満児保育の充実」が必要だ。今年も待機者が出ている。理由は保育士の確保だが、見直しが必要でないか。

**答弁** 未満児保育の希望は年々増えている。指摘された保育士の雇用条件だが、通勤手当の一部支給を決定した。待機者ゼロを目指したい。

**質問** 経済不況対策を国の補正予算で準備しているが、企業や労働者を取り巻く環境は益々厳しい。市長の基本的な考えを聞きたい。また仙北市は正職員の採用など前倒しは考えないか。農業を雇用の場とする施策に、財政調整基金を財源とした取組は考えないか。

**答弁** 仙北市としては正職員の前倒しは考えず臨時的措置とする。農業振興については今ある制度支援をした

い。

## 田口勝次



### 172万円は県内22番目の所得 農業再興で底上げを！

**質問** 仙北市民一人当たりの年間所得は、172万円と県内22番目の低さだ。どう考える。

**答弁** 生産額を労働人口で割った数値では、全県で11番目。サービス業は県内5〜6位

## 高久昭二



### 仙北市の不況、緊急雇用対策について 対策室を設置し取り組んでいる

**質問** 産業振興条例のつとり、固定資産税や借地等の免除、助成交付を行っている企業は何社あるか。

**答弁** 市独自の緊急雇用創出事業の一つとして、市の臨時嘱託職員の採用につ



次は市長選挙。顔ぶれが注目される

**質問** 日程が公表され、仙北市長選挙だが、石黒市長の動向が注目される。意思表示はいつか。

**答弁** まだ任期が8ヶ月ある。白紙の状態と理解していただき、もう少し時間を貸して欲しい。

いて具体的なメニューはなにか。

不況対策として、公共事業の前倒し発注が求められているが、前倒し工事等実施する考えは。その具体的なメニューは何か。

緊急融資の枠を増額し緊急雇用保障制度を活用した融資を促進させる必要はないか。更に緊急雇用助成制度の創設を図る考えはないか。

**答弁** 産業振興条例の適用になっっている件数については、現在角館地区12社が該当になっている。5年間の報告義務があり優遇措置されている。

12社の内、2社が撤退しており現在10社となっている。  
緊急対策については、議会全員協議会で説明したように、3月1日付で緊急雇用対策室を設置した。現在は状況把握のため、ハローワーク、企業訪問、高校生の就職内定状況など、市民から直接情報を調査している。真の状況はつかみづらいため特別チームをつくるこ

とにした。

緊急雇用、市の臨時雇用の対象項目、人数、費用、前倒し工事についてやれる項目、開始時期など内容を示し、県のヒアリングを受けている。

企業の倒産を防ぐための資金的な支援など条件の中で行政ができることについて支援に取り組む。

**質問** 県立大曲養護学校の分校誘致について、現在大曲養護学校に通っている児童生徒の人数は47名ほどである。県の特別支援教育総合整備計画の中に、仙北市に分校、分室を置くことが明記されていると聞くがどのように進んでいるか。



仙北市から40名が通う大曲養護学校

か。市に誘致するための課題は何か。

立地条件としては旧西長野小学校が利便性からして最適と思うが市の考え方は。

**答弁** 現在大曲養護学校に通学する子供が増えているため、スクールバスの定員がいっぱいになっている。これ以上増える対応できなくなるため分教室の考え方で、大曲養護学校と非公式に旧西長野小学校を視察している。仙北市では40名近い子供達が通学しており、今後減っていく状況にないため、分教室の設置を働きかけをして進めたい。

## 定額給付金の総額は？ 支給総額は4億9123万円



### 藤原万正

**質問** 麻生内閣の経済対策、08年度二次補正の関連法案が成立した。定額給付金は全国民一律であるので高齢化率の高い地域に配慮された政策である。

当市の給付金の総額は幾らか。給付金ごとの対象者はそれぞれ何人か。

**答弁** 定額給付金の基準日は2月1日となっていて、それに従って集計すると、1万2千円の対象者は1万6,839人、2万円の対象者は1万4,458人。支給総額は4億9,123万円となる。支給については当市は4月以降にならない。定額給付金は地元の景気浮揚、経済活性化につなげて頂きたいという事な

ので、市内での消費を強く呼びかけて行きたい。プレミアム付き商品券についても、今、商工会等と協議を進めている所だ。

**質問** 定額給付金と同時期に子育て応援手当も幼稚園や保育園に通う時期は費用が重む事から大きな話題を呼んでいる。当市の対象者は何人か。

**答弁** 子育て応援手当は平成14年4月2日から17年4月1日まで

生まれた子供であって、第2子以降の子供が対象である。当市の対象者はおよそ350人、支給総額は1,260万円となる。支給にあたっては定額給付金と同時進行の執行を想定しながら進めている所だ。

**質問** 妊婦検診が今後、14回まで無料となる事も経済対策の中含まれている。それぞれの対象者への周知徹底の方法をお伺いしたい。

**答弁** 妊婦検診はトータルで14回必要とされ、内5回は市町村で負担してきた。この度14



定額給付金の申請窓口角館地域センター

回まで無料となるという事で、母子手帳の交付時を一番のポイントに、広報やホームページ等でも周知の徹底を図っていきたい。

**質問** 現在、仙北市では戊辰戦争の関係から長崎県大村市と姉妹都市、佐竹藩の関係から茨城県常陸太田市と有縁友好都市として、それぞれ交流をしている。秋田藩角館の土で秋田藩校「明道館」初代館長の

石井子文は細井平州の弟子。師弟の関係の地、愛知県東海市との交流も行っていくべきと考えられるが。

**答弁** 友好都市の交流に関して、相手都市とどういう共通性を持つているか、交流する事によりどんな恩恵が互いに受けられるか等、相手の地域を知る事が大前提と思う。そういった事を調査し判断していきたい。

## 給食費値上げに論議を尽くせ 物価高や安全安心に対応する



安藤 武

**質問** 少子高齢化のスピードが高まり福祉政策の見直しが必要になってきている。また住民ニーズも多種多様で、限られた財源の中でサービスの維持向上は年々厳しくなっている。

行政、福祉サービスの一定の見直しが必要でないか。

**答弁** 平成26年を65歳のピークとする仙北市高齢者福祉計画と介護計画を策定している。今後は地域全体で支えあう地域ケアの考え方に立って進める。少子化については次世代育成支援行動計画で対応していく考えである。

**質問** 市役所職員の退職不補充の考え方に職員の格差是正の現状

について当局の考えを伺う。

**答弁** 仙北市は人口千人あたり、職員14人とするスリム化計画をもって人件費の削減に努めている。給与の格差については、平成20年格差是正を実施済である。

**質問** 学校の統廃合による職員定数減と激変緩和との関係について伺いたい。

**答弁** 公立学校義務教職員の学級編成及び職員定数の標準に関する法律により、昨年4月か



将来の課題と答弁された共同調理場問題

ら2名の教諭を配置した。一定期間とは5年であり、残り3年激変緩和措置が可能だ。

**質問** 教育行政方針で、給食費について一番高い角館の水準に合わせることを発表したが、運営審議会反応はどうだったか。また給食費の値上げとなる西木、田沢湖について議論を尽くすべきではないか。また3給食センターの統合は、合併後の計画だったが、その状況の中で給食費のあり方を示すべきでない

か。

**答弁** 現在角館が一番高い。角館のライオンまで値上げし、物価高

## 民営化、効果の程は 行政のスリム化につながる



小田嶋 忠

官から民へ、コスト削減という事で民間委託、民営化が進められているが、どれだけ効果的であったか伺いたい。

**質問** 桜苑の給食が民間委託になったが地元食材の購入割合はどの程度か。委託になったどの程度の経費削減か。

**答弁** 民間のノウハウを活用することでコスト的にメリットを出すということもあるし、そのノウハウによって利用者の利便性が図られ向上されることもある。結果として行政のスリム化につながっている。

や安全安心の対応をした。3給食センター共同調理場は将来の課題である。

桜苑の地元食材購入割合は33%程である。経費削減については、直営でやっていた時の職員の経費をどこまで給食の費用と見るかということもあるが、約5百万円近くとみている。

**質問** 寿楽荘の入所者はどんな理由で入所しているかと認識しているか。

**答弁** 現在73人の入所で生活が困難な方が46人、病院やリハビリ施設等の退所者12名、家庭内不和で同居が困難な方10名などである。

これまで両自治体と協議した事はない。ただし今後2年間かけて桜苑と一体での寿楽荘の民間委

託の計画推進にあたっては、まずこちらが主体的に計画を立て、進める中で入所者の多い自治体にも話をするというスタンスである。

### 質問 桜苑の臨時職員

は短期間で辞めてしまう方が多いようだが、この状況をどう受けとめているか。

### 答弁

採用された方が長期間継続という方もおるし、短期で退職された方もいる。ちなみに平成18年では採用4名のうち現在までで退職1名、19年採用3名のうち退職なし、20年採用5名のうち退職1名である。

理由はさまざまだと思

う。全般的に臨時職員と正職員の待遇の差の改善は必要と思っている。4月からは通勤手当を設けることとした。

### 質問 民間の運営にな

ると人件費の水準が下がり、賃金を下げる方向になる。安ければいいと民営化する事は問題がある。

### 答弁

行財政改革につながるかどうかで判断し、民営化すれば安く済むというような安易な判断はしない。



大仙仙北市に1つの養護老人ホーム

## 議長インタビュー

# 平成21年第一回定例会 ふりかえって



問 初めに、3月定例会の感想を伺います。

今定例会で木質バイオマス導入を初め市立田沢湖病院・内陸線問題等重要な問題が山積していた。更に12月定例会で議会が議決した緊急雇用対策問題があった。(議員提出議案)

必ずしも議会で議論が活発で充分議論が深まったとは言えない。

各々個々の議員の研究調査が十分と言えない所もあり、今後議会で議論を深めなければならぬ。

問 党派制を採り議会がどの様に変わったと思いますか。

議会で党派性を採った

が、未だその効果が十分に発揮されているとは言えない。

問 党派によりその考え

方、行動が異なるが、いまだ旧市町村議会の体質を色濃く残しているからだ。

一日も早くそこから脱皮しないと本当の意味で党派制の本領が発揮されてこない

問 市当局と議会は常に車の両輪と言われますが、今の仙北市の現状をどうご覧になりますか。

市当局と議会は互いに相乗効果を発揮している。

議会は市民の問題、声を市当局に反映させるのがその役割である。

又市当局は議員の質問・要望を良く聞いておらず、市は縦の関係のみで、横の連携が無く大きな問題である。

市当局は市の現状・問



議長執務室

題点を十分議会に公開せず、市は議会を重視して対応してもらいたい。

議会も切磋琢磨し、更に努力して戴きたい。

問 以前議会主催で議会報告会をやりましたが、その意義について。

議員が市民の中に入り、更に理解して戴く為、議会の存在価値・議員の果たす役割を理解して戴くためにも議会報告会を復活させ、各地域で開く

ことを検討した方がいいと思う。

問 最後に一言日頃考えておられることをお話し下さい。

今、仙北市を取り巻く状況は一層厳しくなっており、不況・離職者問題が深刻だ。

今こそ、市民のためにその役割を果たさなければならぬ。

# 常任委員会 だより



## 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された案件は議案15件陳情1件、継続審査中の陳情1件で計17件である。

■仙北市特別職、教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する一部を改する。

平成18年5月から特別職の給与を減額支給しているが、更に減額期間を平成22年3月31日まで延長するものである。

問 財政が逼迫しているのなら、期末手当も改正すべきでないか。議員は期末手当まで減額している。

答 18年時点からあくまでも給料的な面を減ずること、手当までは関与をしない形で進めてきており、今回もこの様な形にしたものである。

### 平成21年度仙北市一般会計予算

歳入 市税関係について 問 駐車場使用料等、軒並み減になっている。原因は観光客の減になったとの説明だが、何としても観光客をふやす事と、歳入の増を図ることが必要と思うが。

答 昨年は地震などで観光客減となっていると思う。第一の原因は景気低迷と考えている。市全体で観光客を招くという、意識を持った上で取り組み、各団体が人任せでなくネットワークを使いながら工夫し、早期に回復できる体制づくりを積極的に進めたい。

### 総務、民生費県補助金について

問 生活バス路線維持費

補助金が昨年と比較してどうなっているのか。

答 県補助は、経営損失額の1/8

で残り5/8が市負担2/8は会社の負担となる。昨年

まで観光路線補助だった田沢湖角館線、田沢湖一周線が、

今年度生活路線に変更したことによって増えている。

問 電源立地、地域対策交付金は水力発電所に関連づけた周辺整備等目的に使われているが、今この様に観光客が落ちてる状況で、観光客が増えるよう使おうべきと思うが。

答 合併前は水路の改良、施設の改良に割り振りされていた。その後一市町村一事業に、国の方針が定まり、田沢湖で保育所の人件費に充当し

たこともあり、角館分もあわせて充当されている。



「がんばってます」生活バス路線

る。又観光振興等にも当てることも出来る。

### 歳出 企画、交通政策費について

問 板橋のアンテナショップの最近の現状と見通しはどうなっているのか。

答 昨年4月から参加し、全国9市町村で、合同で物販をしている。4月〜1月まで、延べ603品目、全額として生産者から納入した物が70万円、7月10月のイベント直売合わせ約

100万円売り上げている。

問 内陸線前で、聞いた市長の考えと議案質疑の答弁で、認識が違っているのではないか。

答 国の制度を最大限活用しながら、乗車運動も同時にやり、残すことに向けての色々な施策をしている。結果がなかなか見えてこないが、姿勢としてはそういう方向で努力している。「スタンスは変わっていない。」

### 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について(第45号)

問 この計画は昨年3月、総合整備計画で20年度から2年間の計画である。工事はどれぐらい進んでいるか。

答 20年度は事業実施できず、21年度着手することになる。計画路線を延長するも

ので、1000mから2000mに、事業費が1,200万円から2,090万に変更となる。(県道広久内角館停車場)

### 陳情

◎地積調査錯誤の修正方について(継続中)

◎賛成多数で、採択と決定した。

### 継続

◎日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求める要請について

◎さらに調査が必要なため、継続審査と決定した。



収入増になるか駐車場

# 教育民生常任委員会

平成21第一回定例会、教育民生常任委員会では、本会議から付託された15件の案件と継続審査中の陳情3件を審査した。

不況の影響からか、保育園の0歳児保育希望者が多く、入園待機者が多いこと等の議論が多く出た。

## 一般会計予算

### 民生費

**問** 社会福祉協議会の補助金の給与12名分について、人件費を持つ法的根拠があるか。

**答** 旧町村時代から人件費を交付していた。社会福祉協議会は行政がやらなければならない事業をやっている。自治体に設置するよう行政指導がある。

り、社協の維持、管理、運営にあたっては行政が責任を持ってやってきた。

**問** 社会福祉協議会のお金の使い方を市民はわからない。独自で色々な事業をしたり寄付を集めているが全体事業費がわからない。

**答** 社会福祉協議会から実績報告書があがって来て最終チェックしている。



未満児待機者をなくせ保育園

**問** 最近0歳児の保育を希望する保護者が増えている。基準では4月1日の上限値が15%増しまでと決っている。入園当初は新しい環境になれるまで時間がかかる。それは受け入れる保育園側にもいえる。ある程度環境が落ちついたら、若干基準を超えて受け入れても良いということである。

し、社協の広報でも毎年の予算や収支等を公表している。

### 0歳児待機者多い

**問** 毎年のことだが4月に3歳未満児等が定員数の関係で入園出来ない。6月からは25%枠で入れられるが4月からどうにか出来ないか。

**答** 最近0歳児の保育を希望する保護者が増えている。基準では4月1日の上限値が15%増しまでと決っている。入園当初は新しい環境になれるまで時間がかかる。それは受け入れる保育園側にもいえる。ある程度環境が落ちついたら、若干基準を超えて受け入れても良いということである。



使用不能の角中プール

**問** これだけ待機者が出るのは、保育園の広さ面積か保育士の数の問題か。

**答** 新築の角館保育園や西明寺のこにこ保育園でも0歳児の要望がこれだけ増えるのは予想していなかった。物理的な問題として、面積の最低基準がある。保育士もやめた所の補充もなかなか集まらない状況だ。

### 行政費

**問** 環境保全センターの大規模改修の詳しい内容を教えてほしい。

**答** 建設後10年経っている。

### 教育費

**問** 各学校でのプールの状況はどうなっているか。

**答** 角館中学校のプールは30数年経過している。

**問** 各学校でのプールの状況はどうなっているか。

プールをどうする

◎現状の市所管するテニスコートの維持管理も適切に行えない状況やテニスコートの需要等総合的に判断して不採択。

◎後期高齢者医療制度中止・撤回の意見書を求める陳情書

◎この制度は法律にのっとり運営されているので不採択。

◎テニスコートの建設について

◎現状の市所管するテニスコートの維持管理も適切に行えない状況やテニスコートの需要等総合的に判断して不採択。

◎市立田沢湖病院の存続方について

不採択

◎後期高齢者医療制度中止・撤回の意見書を求める陳情書

◎この制度は法律にのっとり運営されているので不採択。

◎テニスコートの建設について

◎現状の市所管するテニスコートの維持管理も適切に行えない状況やテニスコートの需要等総合的に判断して不採択。

◎市立田沢湖病院の存続方について



# 産業建設常任委員会

## 西木町に木質バイオマス施設の設置が決まる

当委員会に付託された案件は、議案21件、継続分を含めた陳情3件の計24件である。

### ◎平成21年度仙北市一般会計予算を可決

木質バイオマス施設建設事業費6億6千3百25万円については十分に内容を検討するため、市長も出席をして集中審議をした。

**計画概要** システム仕様はガス化システム、発電量3百KW、熱供給量



木質バイオマス施設予定地

換をあきらめるのではなく、今後の技術の進展等に期待を込めながら、行政として地域を守る、地球を守るといふ責任を持ちながら新しい事にチャレンジをしていきたいという事の一つ目として今年度、木質バイオマス発電に取り組みことにしたわけである。勿論事業費が多くかかるので有利な補助、過疎債、を選択できたのでこれを機会に実施しようとして提案させていただいたところである。取り組みむことによつて仙北市の交流の目玉の一つとしても活用できるのではないかと思つている。又、利用方法については、林野庁の補助という事でクリオン、にしき園に電気と熱を供給する計画である。診療所については現在計画に入っていないが、将来的には提供していきたい。

**問** 市内森林の間伐等の整備にどの程度の効果があるのか

**答** 平成20年度に団地化協議会を設置しており、団地内路網整備を実施する、又原材料の利用にあ

たつては供給契約を締結して進める。

**問** このバイオマス施設にかかわる敷地面積、又建物棟の面積はどの程度が必要になるのか。

**答** 必要な敷地面積は1千5百平方メートル。又建物棟の面積は、延面積で7百50平方メートルである。

**問** バイオマス事業について市民への周知を徹底し意識の高揚を図つていかなければならないと思う、又農業施設への利用も考えなければならぬと思うが伺いたい。

**答** 今年度木質バイオマス事業を実施しその結果を公表したい。今後特に冬期農業施設への利活用を考えていきたい。

**問** 設置後のメンテナンスはどのようなものか又主要機械の耐用年数について伺う。

**答** 未稼働日数を利用して春秋に集中してメンテナンスを実施してゆくこととしていく。耐用年数は15年である。

◎平成20年度仙北市一般会計補正予算を可決

**問** 目指せ「元気な担い

手」農業夢プラン応援事業費の減額分(2百29万9千円)と雇用特別対策について伺いたい。

**答** 減額分については、当初予算に計上したが、県に枠がないということ

で減額したものである。又雇用特別対策部分の事業については、従来の夢プラン応援事業にプラスして新たな雇用の拡大につながることを条件に、農業法人等が実施する事業であり、要件は、組織内で新たに雇用する計画を持つていくことである。

◎平成20年度仙北市集落排水事業特別会計補正予算を可決

**問** 今後の集落排水事業

の計画はどのような年次計画になっているか。

**答** 旧田沢湖町の環境整備の中で、平成22年度まで田沢地区、その後には神代森腰周辺を予定しているが、この事業の投資効果は非常に厳しいものがあると受けとめていく。



農業夢プラン事業の菌床シイタケ

### 陳情

#### 採択

◎市道の改良舗装について

#### 継続

◎田沢高屋地区側溝改修工事の実施方について

◎最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書採択を求める陳情書

# 動き

## 特別委員会

### 高校特別委員会

特別委員長が逝去され、県立高校統合等調査特別委員会は、最終的な見解を提示するに至った。また病院経営特別委員

(はじめに)

も結論に至った。角館病院を「本院」、田沢湖病院は「分院」とし、診療所を含め医療ネットワーク化する当局案に賛成した。議会改革をいっそう進めるため議会改革推進協議会が設置された。仙北市議会も基本条例づくりに取り組むことになった。

平成18年11月27日付けで仙北市議会に角館高校、角館南高校の存続を希望する会(高橋雄七会長)より両校の存続に関する特別委員会設置の要望書が提出され、市議会はこの要望の趣旨に添った調査研究に取り組むこと

(経過について)

県教育委員会が平成17年7月に示した「第五次秋田県高等学校統合整備計画」の後期計画に、新たな基準が設けられ角館南高校が、この統合計画の対象になった。

少子化による当地区の生徒数の減少と、両校の著しい老朽化は教育現場を知るものしか理解出来ない。特に角館南高校は耐震度調査の結果倒壊の可能性が高いとされている。

当委員会は実現する会を始め、市当局、市教育委員会、県教育委員会、



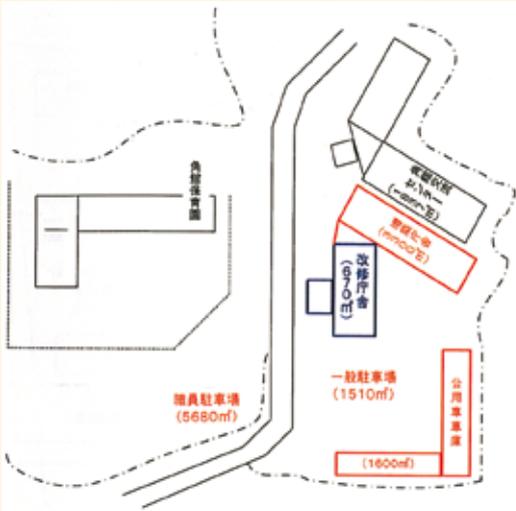
統合計画の対象になった角館南高校

角館高校、角館南高校の各校長、大仙美郷仙北選出の県議会議員、各中学校長など計16回の意見交換をして来た。(まとめ)

県教委の再編計画に反対する地域を置き去りにする姿勢に問題があるにせよ、大曲仙北地区の中学卒業者は十年後に、約4百人近い減少となるこ

とから、再編整備の基準となる「学級定員数40人」「学級数4〜8学級」の確保は大きな課題となる。特に角館南は現存1学年3学級の35人の定員であることから、これ以上の学級、定員減はあり得ない。以上のことから仙北市だけの努力で、2校並立存続は現状に置いては厳しいと思われる。調査特別委員会の結論は、仙北市にふさわしい高校教育の体系を新たに構築し、早急に県教委と協議を計るべきと考え

## 仙北市庁舎整備で市長試案示される



市長は就任当初から分庁方式の庁舎を、より効率の良い本庁方式への転換を打ち出して来た。平成19年7月に庁舎内に「仙北市庁舎整備調査ワーキンググループ」を立上げ、効率のよい行政運営を行うために、庁舎整備をどう行うべきか、検討作業を進めてきた。検討会議や現地調査・視察を重ね、平成20年12

月に「庁舎整備に関する総合報告書」を市長に提出。市長はこれを受け今年の2月に市民へ報告書を公開しパブリックコメントを募集、その寄せられた意見をふまえて、3月31日に整備方針の市長試案が示された。その試案によると整備事業の時期は平成24、25年度。建設地は角館交流センター付近とし、交流セ

ンターと健康管理センターの間に3階建の庁舎を増築。概算費用は10億5千6百万円。



市長試案の角館交流センター周辺

## 市立病院等経営に関する調査特別委員会

市立病院等経営に関する調査特別委員会は、平成19年4月から、15回開催し調査の結果を議長に報告した。その主な内容は平成20年12月、市立病院等改革推進計画策定委員会では、仙北市の医療環境は益々厳しい状況の中、市民の安全、安心と信頼を確保し地域医療を守るため、2つの市立病院の経営を計るため組織を一本化した上で、病院事業管理者を置き、病院事業の経営と管理を総括させる。その果たす役割として、市立角館病院を



急がれる田沢湖病院の救急再開

療資源の集約化を図る。田沢湖病院は有床診療所へ転換し、病床の有効活用を検討するなど意見集約書を市長に報告している。

特別委員会（議会）では、田沢湖病院佐々木院長から経営改善の提言（障害者施設等一般病棟化への取り組み）をどのように位置づけるか。市立病院の組織を一元化して、事業管理者を設置することだが、どのような人材を考えているか。

経費削減と収入確保の具体策、更に改革推進計

画をどのように検証していくのかなどの質疑がされた。

当局からは、田沢湖病院の経営改善を図るため田沢湖病院長の提言する障害者施設等一般病棟化へ本格的に取り組みを実施するため田沢湖病院を分院として運営すること。

病院管理者については病院に精通した人、例えば大学の医師（教授）など医局管理の経験がある人を想定している。

経費削減として、病床利用率に応じた人事配置による人件費の削減。

医薬材料費等の一括購入、維持管理にかかる経費の一括発注等で経費の削減を行う。収入の確保としてネットワークを活用し医師確保に努め、診療収入、医業外収益の増収を図る。その他計画の点検、評価を年一回実施し、情報を開示し、計画の達成が困難と認められるときは速やかに改定する答弁であった。議会の意見として、地域医療の果たす役割を明確にし、安定的に持続可能なもの

とすること。医師確保、経営改善に失敗したら病院がなくなってしまうと

いう危機感をもって取り組みなど申し添え報告とする。

## 議会改革推進協議会が設置される

議会改革をさらに進めるため、2月25日各会派代表者会議が開催され「名称」を議会改革推進協議会と称し設置した。3月19日の本会議において6名の委員が選任されている。内容の検討については、「先例・慣例の総点検」、「各議員からの活性化等の提案」、「先進事例の調査研究」を進め60年以上も続いて、制度疲労をおこしている運営ルールを地方分権、地方自治という視点及び市民参加型議会の構築を前提に議論しなければならぬ。議会改革の動きが各地域で活発化してきたのは、地方分権の進展や財政危機、あるいは市民層の変化を背景に従来型の議会のやり方や、活動パターンが否定されてきたことによるものが大きいと思われる各議員は、市民に対し、明確な説明責任を果たし、時には指導し

ていくことも求められている。以上の事項を實踐するには最高規範としての議会基本条例の制定が不可欠であり、議会運営体系を整えこの条例はすべての活動指針の基でありここから始ることになる。

議会基本条例の特徴については次のような事項がある。

- ◎ 市民や団体との意見交換のための議会開催による一般会議の開催
- ◎ 請願、陳情を市民からの政策提言としての位置付け
- ◎ 重要な議案に対する議員の賛否の公表
- ◎ 年1回の議会報告会の開催を義務化
- ◎ 議員の質問



初会合の議会改革推進協議会委員

## 誘致企業の撤退と 特別養護老人ホームの民営化

仙北市の誘致企業セキエレクトロニクスが、3月末で従業員の大半を解雇した。残るわずかの従業員で操業してきたが、これも時間の問題となっ



雇用がまた一つ消える  
セキエレクトロニクス

議会の議論も弱かった。

「田沢湖清眺苑」は今年度4月から民営化された。経営を任されたのは、西木町で「清流苑」を運営している県南ふくし会である。入所者のサービス評価も高く、経営も安定している会社である。

これまで清眺苑で長い間臨時職員として働いていた人達が、社員として採用された。臨時雇用者の採用が当初目的の一つだっただけに、10人の正社員化は大きい。清眺苑の正職員は人事異

動で、新しい職場で新業務にあたっている。

議会の議論に、「民営化や業務委託」に反対という意見もある。主な理由は公的な責任の問題である。

福祉について行政が全て責任をもつとすれば、相当な職員数が必要になる。今は国の緩和措置も進み、民間サービスが充てている。

今後必要なことは、介護労働者の処遇改善である。

## 佐藤宗善氏逝く



病氣療養中だったが1月13日秋田市の病院で死去。

旧西木村議を連続4期務め、議長1期。仙北市議2期目。仙北市高校統合問題調査特別委員会委員長。

## 会派紹介 創成会 (そうせいかい)

### 仙北市議会の中心的役割を担う

かつて、最強軍団といわれた田中派が、竹下派になった時「創成会」という会派に衣替えをした記憶があると思う。それを真似たのではなく

仙北市議会で、はじめて成立した会派ということ「創成」という文字を会派名にした。



を設立し、私たち創成会は構成員個々の資質向上に努め、仙北市議会の中心的役割を担うことを目標に会派活動に励むことを誓った。



石黒市政に対するスタンスは是々非々とし、市民の代表にふさわしい議員活動に心がけ、仙北市の発展をめざすことを目的としている。

私たちは議員個々の特色ある活動を重視して、レベルアップをはかることに心がけている。特に定例議会の前後は、議案

の検討会をし、質疑や議場における発言について意見交換をしている。議場で発言しなければ、議員になった意味がない。発言するには、勉強が必要である。会派で議論することで、会派としての意見にまとめ上げられる。



今、私たちは「議会が変われば、自治体は変わる」ことを強く意識して議会活動に取り組んでいる。

3月定例議会に、「議会改革推進会議設置」を呼びかけ、設立することになった。議会基本条例をつくるため、残された期間創成会はがんばる。



## 編集後記

世界的な景気悪化の波は、仙北市でも遅れることなくやってきている現状の中、仙北市における雇用対策は迅速に効力が発揮されることを切に望みます。定額給付金の給付についても、近隣市町村より対応が遅いのではないのかとの意見が出されるなど行政に対し早急な対応が求められております。

市内の三大名花が見ごろの終える頃にこの号が皆様に届くと思います。今定例会に於けるありのままをお伝えします。ご愛読よろしくお願いいたします。

